

2025年11月19日

# 民間施設の公的活用と持続的な経営

—民間施設で企業と地域を繋ぎスポーツ振興からスポーツでの地域振興に—

NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット  
理事長 桑田 健秀

# I .ピボットフット設立趣意書

**私たちはスポーツから多くの喜びと感動を得られることを知っています。**

- スポーツを通じて学ぶ精神性。健全な心、頑張る気持ち、連帯感、いたわり、助け合いなど。
- 子供から高齢者までの幅広い方々が身近でスポーツを行うためには、これまでの企業と学校が推進していたスポーツとは、異なる独立性を持った活動が必要になってきております。
- スポーツがより日常生活に溶け込み、多くの人々の生活に喜びと潤いをもたらす為に、私たちは、スポーツが、いつでも、誰でも、生涯にわたって行える場を作っていきたいと考えます。

わたしたちは、スポーツおよび**スポーツの振興**を通して、

- 地域に独自のスポーツが行える環境とその運営を行い、
- 生活の充実、素晴らしい人間性の形成、多くの交流が生まれる場づくり、
- 明るく元気な社会づくり、まちづくりに貢献してまいります。
- 地域に夢と感動と希望を提供します。

# I .ピボットフットの目指すところ

## — 運営形態 —

### 【私たちが目指す運営】

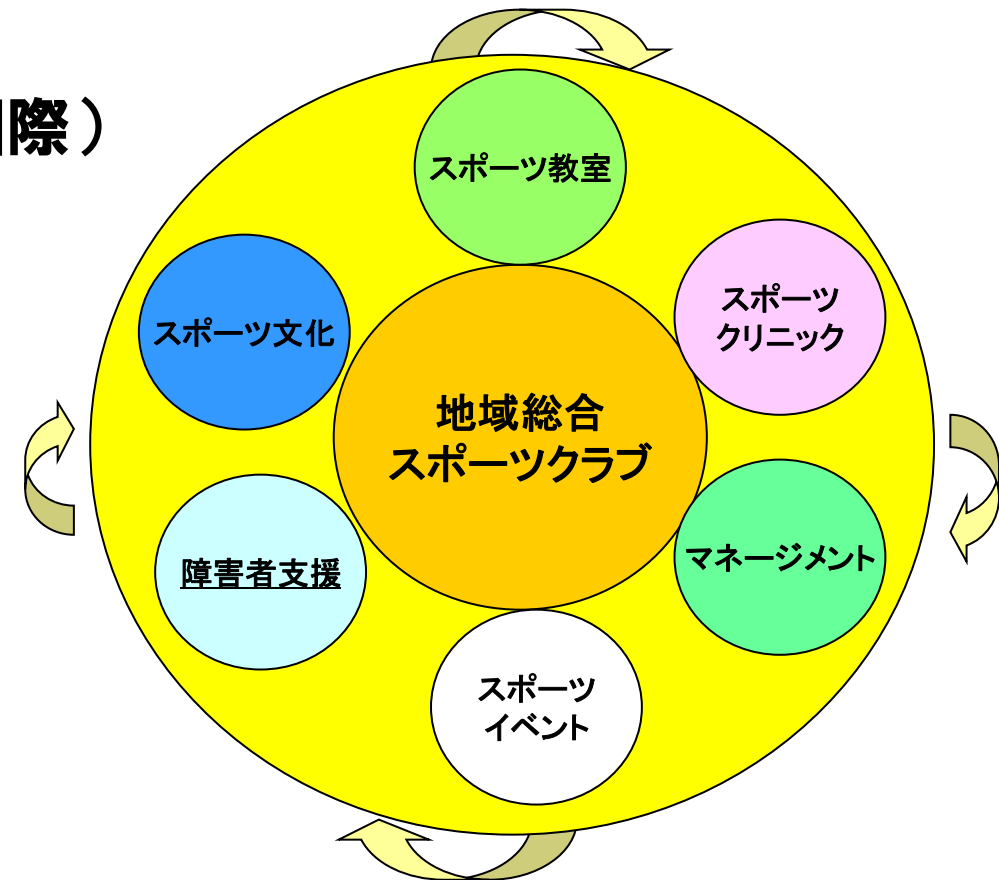
は、町として地域としてスポーツの振興をはかり文化、コミュニケーション、教育と様々な個性の生まれる環境づくりをする為に、

- 将来にわたる継続性
- 専門家による専任体制
- 明確な責任体制

を行える組織の確立が重要と考え社会的法人格をもつ公益法人  
「NPO特定非営利活動法人」が最適と判断しました。

# I. 主な事業内容

- 地域総合スポーツクラブ運営（複数のスポーツや文化活動との連動）
- 地域密着型スポーツ教室の開校（継続的な一貫指導）
- スポーツクリニックの開講（定期的）
- 指導者の育成・派遣（競技、クラブ運営）
- スポーツイベントの企画・運営支援（国内・国際）
- スポーツ予防医学・栄養学等のセミナー開催
- 障害者、知的障害者スポーツ活動支援と交流
- スポーツ及びその活動に関する情報提供
- NPO法人の社会的存在意義を高めるための他団体間との交流



# I. ピボットフットの事業の柱

## 1. スポーツ振興における事業の3本柱の確立

①地域密着型スポーツ教室 2002年12月～

2024年度実績

スポーツ教室 年間18種目66教室 延べ2,268教室 参加20,340人 会員数863人

②地域密着型フォーラム運営管理 2013年11月～

③学校運動部活動 2024年 5月～

(活動動画紹介)

## 2. 事業規模の拡大

①2023年度 5,404千円

②2010年度 26,962千円

③2013年度 53,418千円

④2024年度 163,107千円

## II. ヤマトフオーラム 業務委託契約への経過 1

### 1. ピボットフットの活動 (地域密着型スポーツ教室の運営)

①2002年12月設立 (バスケットボール教室10人でスタート)

②2024年度活動実績

- ・スポーツ教室 年間18種目66教室 延べ2,268教室 参加20,340人 会員数863人
- ・ヤマトフオーラム運営受託、学校運動部活動地域連携
- ・地域イベント出演、企画運営93回

収支決算 収入163,107千円、支出154,971千円 収支8,136千円

### 2. 大田区羽田 荏原製作所女子バスケットボール部ヴィッキーズとの出会い

- ・2003年度地域と企業チームを繋ぐホームゲームの運営をピボットフットが担当
- ・当時エバラヴィッキーズ実業団2部の最下位 (2025年度WJBL1部に昇格)
- ・2004年4月 バスケットボール部ヘッドコーチに就任

## II. ヤマトフオーラム 業務委託契約への経過 2

### 3. 企業体育館の消滅

- ・荏原製作所(大田区羽田)の本社工場千葉移転に伴い企業体育館が消滅
- ・バスケットボール部は、大田区内各施設借り歩きで日々の練習(2010年～)

### 4. ヤマト運輸(株)との出会い

- ・荏原製作所跡地をヤマト運輸(株)に売却のニュース
- ・商工会議所や大田区、地元住人からのお願いで体育館建設の情報
- ・日建設計からヤマト運輸(株)に体育館運営の支援を提案
- ・ヤマト運輸(株)から設計から参画の要請受託(地域活動実績の評価)
- ・バスケットボール専用コートに近い体育館の建設(観客席無し)
- ・入札を経て2013年11月運営管理業務委託契約を結ぶ

## II. ヤマトフォーラム 業務委託契約への経過 3

### 5. ヤマトフォーラム(体育館)の運営

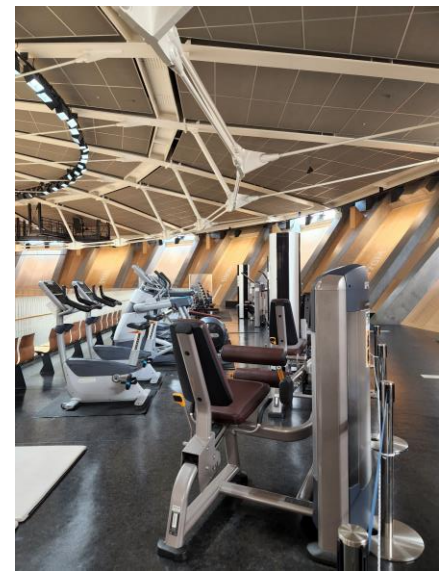
#### 2013年11月オープン

- ・企業と地域を繋ぐ施設(地域社会貢献ゾーンの施設)
- ・企業や地域イベントの開催、地元サークル団体の練習場所、発表の場所として活用
- ・従業員、パートすべて地元羽田、糀谷在住者で運営管理
- ・地元プロバスケットボールチームのホーム練習コート

2024年度実績 稼働率:95.1%

アリーナ利用人数20,340人

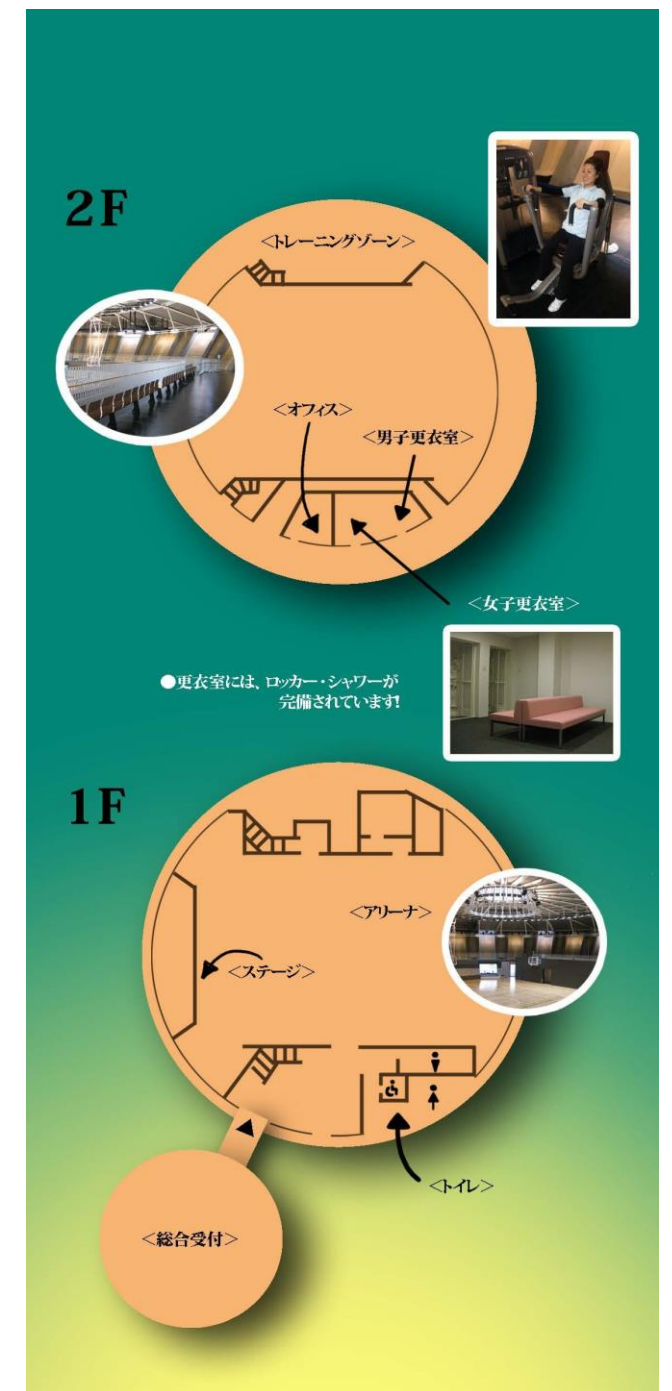
トレーニングジム利用人数 5,113人



# Ⅲ.ピボットフットとヤマト運輸(株)との連携協働

## 企業と地域を繋ぐヤマトフォーラム

### ・交通案内・



# Ⅲ.ピボットフットとヤマト運輸(株)との連携協働

- ・企業と地域を繋ぐフォーラム運営（社会貢献ゾーン、2024年度稼働率95.1%）
- ・ヤマト夏祭りの企画運営、ヤマト女子バスケットボール部創部(全国大会出場)
- ・ピボットフット教室(高齢者体操、ダンス、バスケットボール)の開催

2013.11月  
オープン



バスケットボール教室



2014.7月地域夏祭り



# IV.ピボットフットの持続的経営に向けて 1

ースポーツ振興からスポーツを軸にした地域振興にー

## 1. 学校運動部活動地域連携・地域展開（2024年5月～モデル校実施）

### （1）事前経過

- ①2002年12月 NPO法人ピボットフット設立
- ②2010年 4月 大田区スポーツ審議委員会委員就任
- ③2014年 3月 大田区議会スポーツ議員連盟設立
- ④2017年11月 （一社）おおたスポーツコミッション設立

### （2）検討会議の開催

- ①2023年12月22日第一回大田区立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する検討会
- ②2024年 2月 5日第一回大田区運動部活動検討分科会開催
- ③2024年 3月27日第二回大田区立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する検討会
- ④2024年 7月 4日モデル事業に係る分科会
- ⑤2024年 9月24日第三回大田区立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する検討会

# IV.ピボットフットの持続的経営に向けて 2

ースポーツ振興からスポーツを軸にした地域振興にー

## (3) 2024年度モデル事業の実施

- ①2024年 2月 プロポーザル公募
- ②2024年 3月 NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフットが受託  
(指導者派遣とマネジメント)
- ③2024年 5月1日より事業実施

## (4) 2024年度事業概要

- ①大田区内 5 中学校
- ② 8 種目 バスケットボール5、バレーボール1、バトミントン3、卓球2、フリースタイル1、野球1、陸上1、ソフトテニス1、8種目15部活
- ③15部活動 稼働日は月から日曜日、週5日・4時間/日・20時間/週(原則)
- ④派遣指導員 15人、80%が大田区在住・在勤関係者での選手・指導経験有
- ⑤マネジメント管理者 5人、事務スタッフ4人(フル雇用でない)
- ⑥予算額 92百万円(指導者、マネージメント、管理費)5月~3月の11ヶ月

# IV.ピボットフットの持続的経営に向けて 3

ースポーツ振興からスポーツを軸にした地域振興にー

## (5) **2025年度**モデル事業の実施

①2025年度1月プロポーザル公募

②2025年度3月NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフットが受託

(指導者派遣とマネジメント)

③2025年度4月1日より事業実施

## (6) **2025年度**事業概要

①大田区内 7中学校

②11種目 バスケットボール7、バレーボール1、バトミントン3、卓球4、ソフトボール2、チアリーディング1、野球3、陸上2、ソフトテニス1、サッカー2、吹奏楽1、11種目27部活

③17部活動 稼働日は月から日曜日、週5日・4時間/日・20時間/週(原則)

④派遣指導員 27人、副指導員3人、補助員5人、80%が大田区在住・在勤者での選手  
・指導経験有

⑤マネジメント管理者 8人、事務スタッフ4人(フル雇用でない)

⑥予算額 197百万円(指導者、マネジメント、管理費)4月から3月の12ヶ月

⑦その他 ・ソフトボールでの合同部活動の実証、文科系の吹奏楽

# IV.ピボットフットの持続的経営に向けて 4

ースポーツ振興からスポーツを軸にした地域振興にー

## 2. 学校施設開放モデル事業(2025年5月~)

- ①2025年度1月プロポーザル公募
- ②2025年度3月NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフットが受託
- ③2025年度5月1日より事業実施
- ④2025年度10月よりモデル中学校2校で施設開放の調整とオンラインでの申し込みでペーパーレス化を実施

# V.今後の展開

## 1. 部活動を軸にしたエリアマネージメント

- ①**中間支援組織**を中心に、大田区内行政区割りに拘らずエリア分けて管理を行う
- ②大田区で活動している地域総合型スポーツクラブをベースに行う
- ③エリア内中学校部活動支援と学校施設開放の管理をクラブが行う
- ④2026年度には大田区内全中学校28校で部活の地域連携と施設開放がスタート予定
- ⑤部活動の公式戦を町の祭りごととして運営から応援までを地域住民が担う
- ⑥学校施設開放(中学校28校、小学校59校)と部活動の地域クラブ化を連動させる
- ⑦エリアで公共施設と民間施設を連携させ部活動と地域スポーツの振興を行う

# 事例：学校施設地域開放モデル事業 運用体制図（案）

大田区教育委員会  
教育地域力推進担当

委託契約

（一社）おおたスポーツコミッション

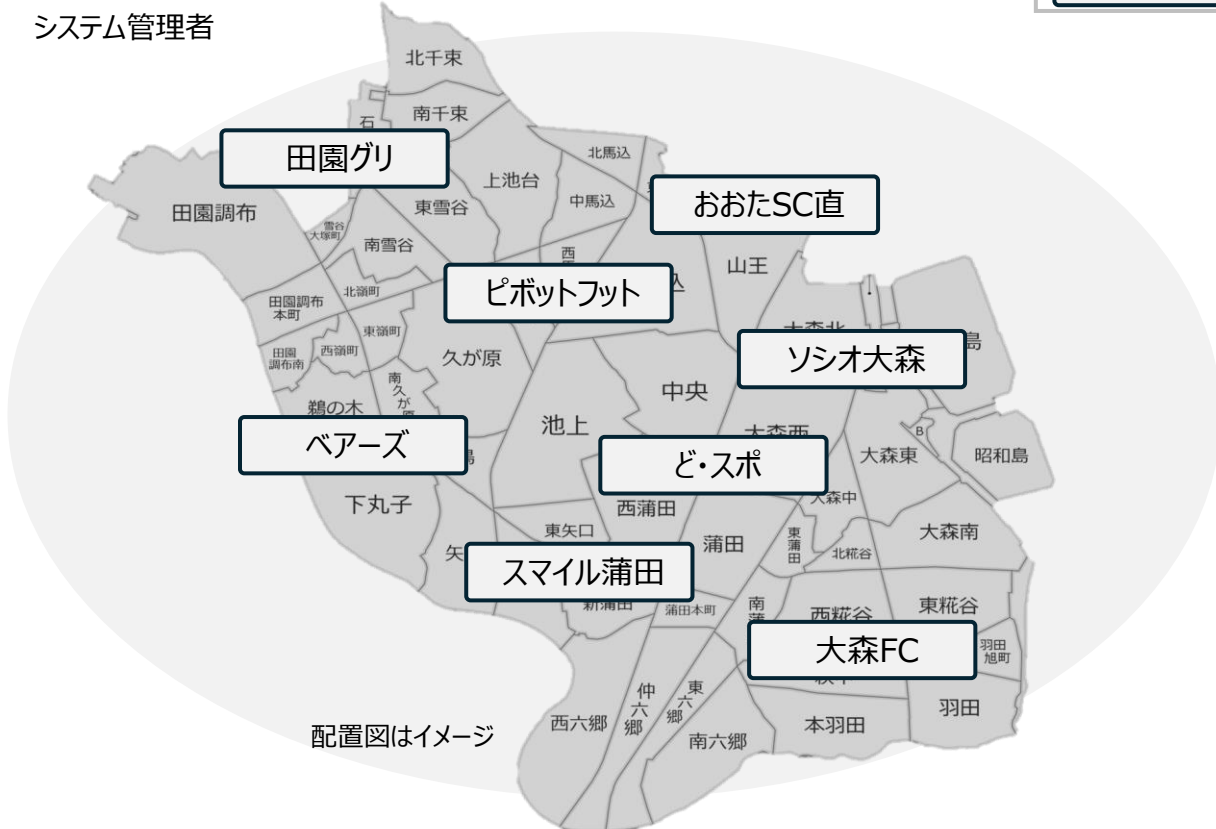


システム管理者



（一社）おおたスポーツコミッション：区内各スポーツ団体や運動施設が有機的・機能的に連携協働、スポーツ資源の機能を高め、官民挙げてそれらをコーディネート（繋げる・リエゾン）するプラットフォーム

田園グリ	おおたSC直	ピボットフット	ソシオ大森
ベアーズ	ど・スポ	スマイル蒲田	大森FC



配置図はイメージ

大田区教育委員会  
教育地域力推進担当

（一社）おおたスポーツコミッション  
統括責任者 1名  
システム管理者（全体）1名

エリア担当事務係員  
各地域型スポーツクラブ 8名

各学校対応担当者  
28名

## 大田区公立中学校28校の担当分割

- ・おおたスポーツコミッション構成の総合型地域スポーツクラブによるエリア別の、運用体制を作ります（8団体8名）
- ・担当エリア内の中学校を各地域スポーツクラブが人的リソース提供 8団体 = 3～4校担当のイメージ。
- ・地域スポーツクラブは、管轄内の地域での、施設利用頻度が高い地域の利用団体との調整約を行う。



おおたスポーツコミッションの役割：  
 ・大田区全体の方針の共有  
 ・各地スポの支援業務

## 展開する各地域スポーツクラブの役割：

- ・施設開放事業のアナログ対応、学校に近い距離と繋がりで運用実務を行う
- ・各校のローカルルールの調整

# 学校施設地域開放モデル事業 運用体制図 (案)

大田区教育委員会  
教育地域力推進担当



システム管理者

委託契約

一社)おおたスポーツコミッション



一社) おおたスポーツコミッション：区内各スポーツ団体や運動施設が有機的・機能的に連携協働、スポーツ資源の機能を高め、官民挙げてそれらをコーディネート（繋げる・リエゾン）するプラットフォーム

田園グリ

おおたSC直

ピボットフット

ソシオ大森

ベアーズ

ど・スポ

スマイル蒲田

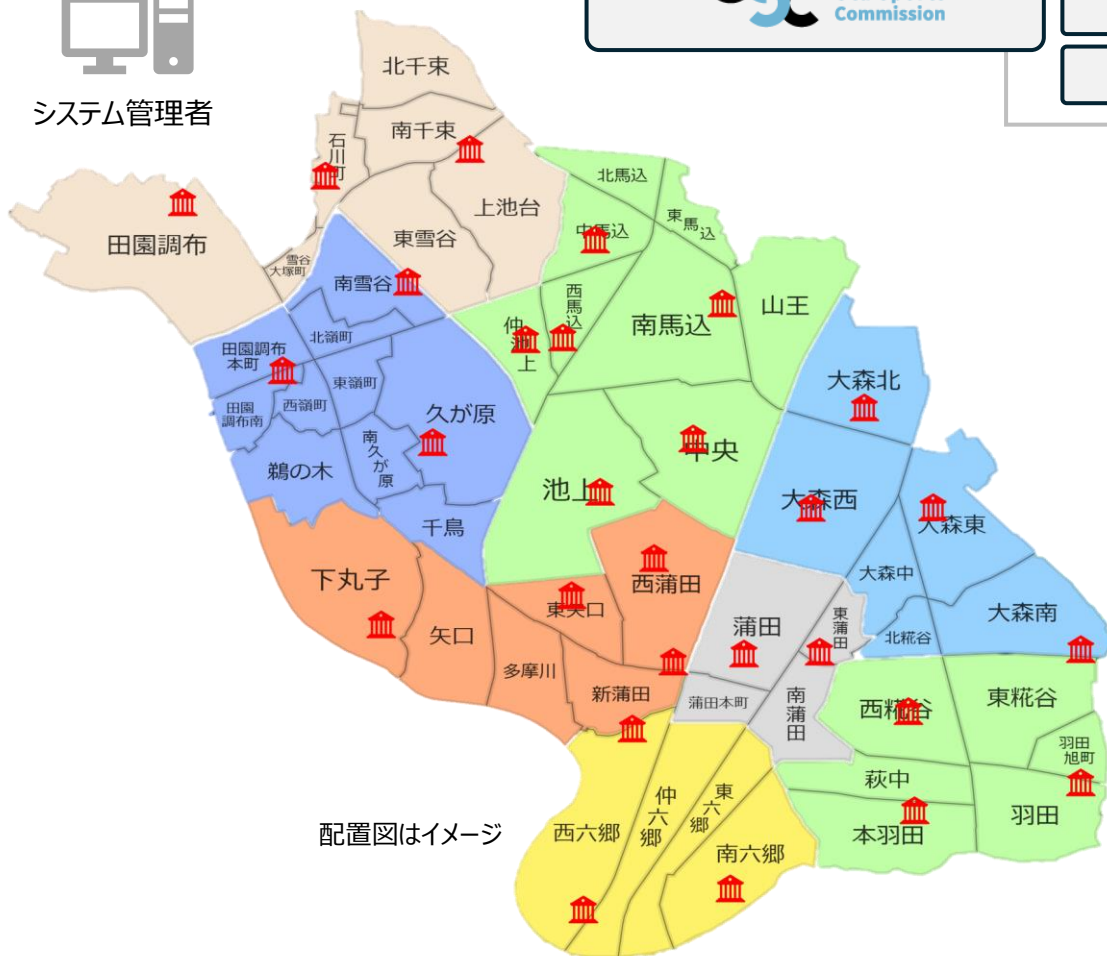
大森FC

大田区教育委員会  
教育地域力推進担当

一社)おおたスポーツコミッション  
統括責任者 1名  
システム管理者 (全体) 1名

エリア担当事務係員  
各地域型スポーツクラブ 8名

各学校対応担当者  
28名



配置図はイメージ

## 大田区公立中学校28校の担当分割

- ・おおたスポーツコミッション構成の総合型地域スポーツクラブによるエリア別の、運用体制を作ります (8団体8名)
- ・担当エリア内の中学校を各地域スポーツクラブが人的リソース提供 8団体 = 3~4校担当のイメージ。
- ・地域スポーツクラブは、管轄内の地域での、施設利用頻度が高い地域の利用団体との調整約を行う。

一社)おおたスポーツコミッション



おおたスポーツコミッションの役割：

- ・大田区全体の方針の共有
- ・各地スポの支援業務

展開する各地域スポーツクラブの役割：

- ・施設開放事業のアナログ対応、学校に近い距離と繋がりでの運用実務を行う
- ・各校のローカルルールの調整